

令和 8 年 2 月 13 日 (金)

令和 7 年度第 3 回学校運営協議会議事録

・学校長挨拶

校長より

今年度最後の学校運営協議会ということで皆様に学校の活動をご報告させていただく。次年度の参考にさせていただきたい。忌憚なくご意見いただきたい。」

根来様、佐古田様欠席。副委員長の同窓会会长の田中様に司会移行。

○授業アンケートの結果について

・校長より

授業アンケートの結果について報告させていただきます。資料をご覧ください。授業力の向上を目的に年2回（7月と12月）を行っています。質問項目が1～9までの通りとなっています。詳細は割愛させていただきます。

1ページ目をご覧ください。1回目と2回目を比較しますと、1回目よりも2回目のほうが授業の難易度が上がるため下がる傾向にある。この中で上がっている項目についてご覧ください。

家庭学習の復習の部分が上がっています。また質問項目9の知識・技能が身についたと感じる項目が上がっています。3.4（約85点）以上の点数がついており授業は評価されていると思われます。

2ページ目をご覧ください。学年によって変化を示しています。3年生のところを見ていただきますと進路にむけて意識が高まり、取り組みによって高まったのかと思います。一方で2年生に関しては下がっています。2年生は毎年下がる傾向にあります。なんらかの動機づけが必要と思っています。教科ごとのデータです。

農業のところでは高い評価があります。これは農業を学びに来ていることから意欲が高いためと思われます。一方で数学において低い傾向にあり、毎年低い傾向にあります。しかし以前はもっと低く3以下の評価だったものが、上がってきてはいます。これは教科の先生の努力によるものと思われます。経年変化に関しては高い傾向にありICTを活用したわかりやすい授業の展開が評価の高さにつながっているのかと思います。」

○学校教育自己診断の結果について

・生徒の自己診断

学校生活については肯定的にとらえている。質問3の「良き友人に恵まれた」の項目に対して肯定的に回答している。安心できる居場所が確保できているのではないかと思われます。そのほか1～5の質問の部分から学校が楽しいと感じている生徒が多いと思われます。学年で見ると2年生が若干低くなる傾向があります。質問7の実習・実験は楽しくためになる、質問6の「座学はわかりやすく楽しい」の肯定的意見の多さから授業について満足が得られているのではないかと思われます。

・保護者の自己診断

保護者が先生方を信頼している。学校への協力体制は良好であるところが大きいかと思います。質問6で「授業が分かりやすい」という項目で少し低い傾向にある。これは先生のほうの自己診断では高い傾向にあり、この乖離から保護者により授業のことを知ってもらう機会を持ってもらう必要があるかと思います。

・教員の自己診断

教員の自己研鑽の回答は肯定的な回答が多く、実際に熱心に取り組んで切る様子が見られています。一方で質問24のところでいじめ対応に関して不満が出ており、これは昨年度と比べていじめの件数が顕著に増加し、会議が多くなったことによるものと思われます。現在解決に向けて組織対応の改善を図っています。また施設設備の老朽化については以前から不満がたまっている状況です。

○令和7年度学校経営計画報告について

・校長より

自己診断の部分には先ほどのものをまとめさせていただいている。学校運営協議会の第1回、2回のご意見の一部を載せさせていただいている。今回のご意見もこのあと載せさせていただきます。

・農場長鳥谷より

農場部本年度の報告

アグリフェスのご協力ありがとうございました。概ね1500名の方の来場者がいました。今後については働き方改革との関係もあり運営方法について課題があり、今後検討していきたい。

大阪府や全国の農業高校と連携して活動しています。13専攻に分かれて活動が行われています。少し縦割りの傾向があるので学科をまたいで活動が乏しい状況があります。現在はまずは学科ごとに活動を取りまとめ見えるかすることを始めました。公立大と小学生に農業を教える活動などをしています。各種大会で活躍しています。

ただ、施設設備について老朽化がすんでいて、教員も生徒も不満がたまっている状況です。老朽化した設備の中でできるだけ取り組んでいる、一方でDXハイスクール事業等の新しい機材も導入しています。できるだけ経費節減できる方向で進めています。

資格取得でアグリマイスター プラチナが今年8名と過去最大です。一方でこの資格獲得に関する活動は土日の活動の影響もあり、働き方に関しては問題があります。

・ハイテク農芸科

科長より

一番は農業関係に就職についていただきたいが、保育など関係のない進路に進む生徒もいます。狭山など地域のイベントに参加し、泉北高島屋やららぽーと堺に野菜等を販売しています。校外の進学説明会等で生徒に説明させるなど生徒に活動を説明させる活動をしています。

・食品加工科

科長より

今年から1年生に対してミニプロジェクト発表を実施しています。発表会はまだ行っていないが、プロジェクト活動するにあたって加工場などに1年生が見に来る機会が多くなった。課題点としては技術・知識の未熟な1年生に対してどのようなプロジェクトをするのかが課題です。帝塚山学院大学さんと連携してカレーを作製する予定です。

・資源動物科

科長より

各先生方に仕事を割り振って活動しています。今年度は外部の活動を8回減らしています。これは校外での活動に関しては運転免許の問題など継続的に活動できる形が難しくなってきたためです。一方で校内での連携活動は倍増しています。教員の入れ替わりが多いため引継ぎ等の問題もあるため指導方法が明確でない学校設定科目から学習指導要領のある科目に切り替えていっています。またDXハイスクール事業で導入したIoT機器などは一人の先生に負担がいかないように分担して取り組んでいます。堺市の動物指導センターと連携させていただき、動物に関心のある小中学生向けに農芸高校があることを知ってもらう活動を行い、入学倍率の改善のために実施させていただいた。

・進路

進路LHRの計画を学年ごとに計画いたしました。全員指導のものを進路希望別のものに切り替えるなどすることによって効率化を図ることができた。3年生ではうまくいったので今度は2年生を改善したいと考えている。

就職はすぐにやめないことが重要になってくることから2年生のLHRで企業の方の話を入れることを考えている。1年生は言語能力が重要になって来るのでドリルをやらせている。2年生の部分が特に重要と考えています。

・総務

総務部長より

中学生、保護者向けの説明会を担当しています。体験入学は参加人数30%増加、一方で学校説明会は21%減中学校教員向けの学校説明会は前年より35%減。農芸祭に来校の中学生は13%増加、模試と日程がかぶっているとの意見もあった。進学フェア等で生徒に説明してもらっているため、このようにしゃべれるようになるという姿を見せるのは効果的であると感じています。

PTA活動は今年もご協力いただき、講習会の実施、体育祭のドリンクの差し入れなどを行っています。PTAは任意団体のため意思確認を行っています。

校長より補足

PTAの意思確認については他の府立学校では半数くらいまでに加入の人数が減っていると聞いています。同窓会については同様に意思確認を行っています。

・残りの経営計画について

校長より

教員の働き方について

土日の出勤について 前年度比 10%削減できています。校務のシステム等の工夫や先生方の努力で下がってきました。来年度は時間外勤務 720 時間以上の教員をゼロにするように指示が来ています。

○令和 8 年度学校経営計画について

一部学校のほうで追加させていただきたい。来年度の取り組みについて、ご意見等あればいただきたい。生徒のコミュニケーション能力の低下を感じています。そこでアンガーマネジメントの研修（生徒・教員・保護者向け）を予定しております。いじめの部分での研修を検討しています。

○委員の方からの意見

PTA 会長 石井様より

- ・今後も生徒の説明会
- ・PTA の意思確認をどのようにするか検討しています。

帝塚山学院大学大学院 大堀様

- ・アンガーマネジメントに関して

生徒さんは抽象的なことを伝えることが難しくなっている。生徒さんは具体的なモデルがあれば理解できる。大学院の連携もよろしくお願ひいたします。

美原区長 小川様

- ・アグリフェス熱心に取り組んでいる姿に感動しました。

インスタグラムで発信しているが、常時発信しているので写真等ご提供いただければ。美原高校の閉校に伴い美原区唯一の高校となる。今後ともよろしくお願ひいたします

同窓会会长 田中様

- ・ミニプロジェクト発表の活動など感心いたしました。
- ・設備のところはどうしようもないところ。大阪府はどのように考えているのだろうか。大阪府としてこの活動を認めていただいて農業の基盤となる御校をめざしてほしい。農業大学校と同等の存在になれるようなものになってほしい。農芸高校が農業の基盤となり発展できるようになってほしい。活動については集約いただきまとめてビジョンを考えてはどうか。

今年度で最後のご挨拶

- ・同窓会会长より・・・次期同窓会会长に交代
 - ・帝塚山学院大学大学院大堀様より・・・定年退職により交代
 - ・PTA 会長より・・・次期 P T A 会長に交代
- ※農業大学校根来様も退官により交代。

校長より閉会の挨拶